

令3自学評第1号

2022年3月15日

令和3年度自己評価・学校関係者評価委員会  
委員各位

学校法人練馬みどり学園 田柄幼稚園  
理事長 吉田 健一  
園長 古閑 博美

## 2021年（令和3年）度自己評価・学校関係者評価委員会議事録

このことについて、以下のとおり、ご報告申し上げます。敬称略。

1. 日時 2022年3月15日 16:05～17:30
2. 会場 田柄幼稚園パンダ組教室
3. 出席
  - (1) 外部委員  
練馬区立田柄小学校校長 伊藤 雄一（いとう・ゆういち）  
立教大学法学部特任教授 薬師丸 正二郎（やくしまる・しょうじろう）  
本園おひさまの会会長 和泉 紀子（いずみ・のりこ）
  - (2) 本園委員  
理事長 吉田 健一（よしだ・けんいち）※17:00 退室  
園長 古閑 博美（こが・ひろみ）  
事務長 吉田 夏子（よしだ・なつこ）
  - (3) 事務局  
教務担当 平石 加代子（ひらいし・かよこ）  
学務担当 阿部 由美子（あべ・ゆみこ）
4. 欠席  
外部委員 日本学術振興会特別研究員／田柄幼稚園教育支援委員・非常勤講師  
奥村 安寿子（おくむら・やすこ）
5. 内容 ※議長、司会進行 古閑 博美
  - (1) 開会挨拶 古閑 博美
  - (2) 理事長挨拶 吉田 健一
  - (3) 配布資料確認（20点） 古閑 博美
  - (4) 資料内容につき質疑応答  
○和泉 「『愛宕神社利用規約』を保護者に開示してもよいのではないか」  
古閑 「開示する」
  - (5) 「令和3年（2021年）度 第1回自己評価・学校関係者評価委員会－自己評価

アンケート結果-」について(園内研修を踏まえて報告) 古閑 博美

(6) 意見交換

- 1) 保護者会などの資料は、PDFなどでほしいとの意見がある。  
→ペーパーレス化を推進しており、提出物により検討する
- 2) 「園だより」や、提出の必要があるものは紙媒体での配付を希望。  
→ペーパーレス化を推進しており、提出物により検討する。
- 3) 防寒着については、園児の安全を考え、例えばトレーナーやスパッツなど  
選択できるものが増えるとよい。  
→ジェンダーレスの観点から制服等含め検討。服装は安全を考慮。
- 4) おひさまの会の位置付けや負担軽減など園側とすり合わせし、検討できるとよい。  
→話し合いの機会を設ける。
- 5) 園の環境が優れている良い園である。  
→校区であり、すぐ近くに畑や神社があり園のよい環境が保たれている。
- 6) 地域の園として今後も人材育成をしてほしい。  
→田柄から世界へ、を目指している。
- 7) コロナ禍の経営で少なからず皆がストレスを抱えている。子どもファーストであるが、互いに労わり合い、全てが幸せになれるように歩み寄りが必要。  
→職場環境の整備に一層努める。
- 8) 本園の理念を念頭に置き、自分で未来を切り開く力を育む。  
→園長が作成した文言(内容:教育の理念を肝に銘じ全身教育を推進し、教育目標に取り組む)を、毎日、朝会と終会で日直が唱えている。
- 9) ハード面での工夫が見られる。  
→環境整備と安全性維持に努めている。
- 10) インスタグラムを見て、入園したいと思う方が増える。日々の更新は素晴らしい。  
→職員が取り組み、継続させている。
- 11) 不審者対応で不安があるとの意見があったが、なにかあったさいは田柄小学校へ真っ先に避難可能。  
→近隣との友好関係を重視。心強いし、ありがたい。
- 12) ものさしを明確にするうえで、理念は大切である。理念は職員間で共有し、各自の目指すところが異なってしまう。事例などをとおして、理解をはかることが肝要。  
→学校法人として理念を掲げ、拠り所とする。職員研修以外日常的に理念の浸透を図る。
- 13) 社会に出ると正解がないなかで、既存概念や行動パターンを壊すことが必要。そのためには、幼児のうちに基礎や基本を徹底して身に付けることが必

要。園長の示している「七育」は非常に大切である。

→今後とも、職員に浸透させていく。

- 14) スライド 27 の（４）のように「目に見える」ようにほめることはおとなも子どもも大切である。

→コミュニケーションの一環として、「伝える」力の向上を目指す。

- 15) 特別研究費の使い方について購入後に申請など、方法を変えても良い。

→特別研究費の使用を励行し、研究意識を高める。書籍購入後や研修参加後の申請を認めるなど、使いやすいうようにしていく。

- 16) スライド 43、44 については、リスクマネジメントの観点から評価できる。責任、事実関係を明確にし、意見できることは良いことである。

→今後とも安全管理に努める。保護者に不要な負担がないか、精査する。

※ 1)～4) 和泉 紀子 5)～11) 伊藤 雄一 12)～16) 薬師丸 正二郎

(7) 閉会挨拶 古閑 博美

以上

文責 古閑 博美、阿部由美子